

桜は3分咲き・店は満開!

佐保川わいわい桜祭り・人気 No. 1

鈴木 末一

第17回佐保川わいわい桜祭りは3月30日(土)、予定通り開催されました。当会からは6回目出店です。例年なら佐保川堤防は、桜色に染め尽くすところです。今年は気温が低く、あいにく3分咲き、そのうえ曇天模様。お客さんの出足が心配でしたが、予想に反して開店前から待ちわびる人が並び始めました。

前日、10人のスタッフが食材の買い付けと下ごしらえで夕刻まで奮闘。昨年は途中で食材などの買い付けを2度3度、うれしい悲鳴を上げたこともあり今回は多めに用意しました。メニューは鶏肉の唐揚げと焼きソバは300円、ネギ焼きは200円の3種。スタッフ22人が食品バザーコーナーで、プロ顔負けの手際よい調理と販売に対応。



瞬く間に長蛇の列ができ、22人はてんやわんやの忙しさ。休む暇もありません。通い慣れた客は味付けをご存知です。「ここのは、どれもおいしいからね」と声掛けしてくれる方々も見かけました。



例年だと、うどんの店がありましたが、今年はお店されていなく、その影響もあったのか、昨年以上の人気店となりました。オープンから時間が経過しても客足は衰えるどころか増すばかりで、スタッフの皆さんには、ゆっくりと昼食を取っていただく時間もないほどでした。

閉店時間の30分前ぐらいになった時、ようやく客足もまばらになってきましたので、昼食を取っていただきました。結局、前日仕入れておいた食材は、全て完売となりました。

一方、自然工作では、小学生だけではなく、親御さんたちも、ジュズダマ・ブレスレット作りにチャレンジ。中には、お兄ちゃんが作ったジュズダマ・ブレスレットを見て、弟さんもチャレンジ。お互いに来栄えを自慢しあったり、お父さんやお母さんたちも一心不乱に取り組まれるなど、ほほ笑ましい光景を今年も見ることができました。作品が出来上がった時の成就感や達成感に満ちあふれた表情は、いつ見ても癒やされるものです。

今年は、総勢22名の皆さんのご尽力とご協力により、いままでにない成果をあげることができました。

そして、何よりも地域の一員として、本会の理念の一つでありま

す地域貢献活動として定着させることができました。本当にご苦労様でした。

